

2012 年度（平成 24 年度）第 1 回核データ測定戦略 WG 会合議事録

日時： 平成 24 年 12 月 18 日（火） 13:30～18:00
場所： 東京工業大学 原子炉工学研究所 北 1 号館 1 階会議室
(〒152-8550 東京都目黒区大岡山 2-12-1 N1-16)

出席委員（敬称略）： 佐波、片渕、原田、西尾、岩元、国枝、深堀、執行、渡辺

配布資料

- NDM-12-01 核データ測定戦略検討 WG 会合アジェンダ
- NDM-12-02 核データ測定 WG（核データ研究会 2012 講演資料の抜粋）
- NDM-12-03 東工大の核データ測定の現状および今後の計画
- NDM-12-04 核データ分野における原子核物理グループの活動
- NDM-12-05 核データ評価側からの要望
- NDM-12-06 重陽子核データ
- NDM-12-07 Working document on the technical meetings on use of neutron beams for high precision nuclear data measurements

1. はじめに（渡辺委員）

配布資料 NDM-12-01 および 12-02 に基づき、WG リーダーの渡辺委員から本 WG の活動内容（方針）：

- ・核データ測定関連研究者間の協力体制の構築
- ・測定に関するニーズを掘り起こし、要求リスト作成に向けた枠組みの構築
- ・核データ測定ビジョンの検討、ロードマップ作成、新規実験プロジェクトの企画や提案の議論

および本会合の議事進行について説明があった。

2. 核データ測定の現状と今後の計画

出席委員全員から、現在行っている核データ測定の現状および今後の測定計画等について発表があり、情報交換を行った。JAEA 核データ評価研究 Gr からの測定に関する要望（国枝委員）と PHITS 開発チームからの要望（岩元委員）についても報告があった。

なお、配布資料 NDM-12-03～12-06 も含め各発表資料は PDF 化して、本 WG の HP 上で公開すること（パスワード付）が了承された。（報告内容の詳細は公開予定の PDF 参照のこと）

3. 会議参加報告「中性子ビームの核データ利用に関する Technical Meeting」（片渕委員）

配布資料 NDM-12-07 を用いて、12/10-13 にハンガリー・ブタペストで開催された標記会議の報告（詳細は公開予定の PDF 参照）があった。日本からは片渕委員のみの参加。会議報告として、“Compendium of Neutron Beam Facilities for Nuclear Data Measurements”を IAEA の Technical Report として出版する予定で、参加しなかった施設も加える方針。片渕委員から東工大以外の施設に対する執筆協力要請があった。日本の施設の存在感を対外的にアピールする好機になり、新しいユーザー獲得や予算獲得の際に IAEA 報告書を引用できる等のメリットを勘案して、本 WG として協力することにし、その担当分担を決めた。

4. 今後の活動方針について自由討論

- ・情報発信に向けた HP の充実（国内の核データ測定施設の一覧、研究活動紹介、相互交流の場）
- ・測定に関するニーズ・要求リスト作成に向けた枠組みの構築に関連して、今回の評価や PHITS 開発側からの要望を整理して一覧を作成してはどうか。

- 今回十分な議論の時間が確保できなかったため、今後も議論・情報交換を進め、数年後を目標に、測定に関するニーズ・要求リスト作成や核データ測定ビジョンの検討結果を纏めたい。
- J-PARC の次期計画である ADS 用材料照射施設 (TFT-T) に併設予定のビームライン利用 (核データ測定含む) に関して機構内での議論が始まる。西尾委員、木村委員が参加。本 WG メンバーに関連情報の提供を依頼。

次回 未定

但し、追加旅費使用が可能であれば年度内に行う可能性あり。

また、3月の原子力学会開催期間中に時間と場所が確保できれば会合を行う予定